

市立中学校生徒会役員と市長との懇談会

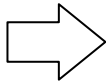
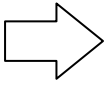
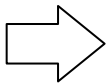
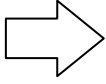
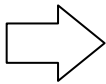
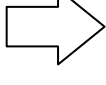
日 時 平成22年 2 月 1 日（月）午後 3 時30分～午後 4 時40分
場 所 昭島市役所 庁議室

1 懇談会の趣旨

第五次総合基本計画の策定に際し、中学生の意見を将来の市のまちづくりに生かすため。

テーマ：「人間尊重・環境との共生」

2 中学生からの提案

環境フェスタに参加し“昭島の豊かな水”の認識を新たにした。		子どもたちにも、水の大切さを教えていく。
地球温暖化防止運動に協力できるように働きかけをする。		①こまめな消灯と設定温度調整のよびかけ ②自転車や公共交通機関の使用促進のよびかけ ③家庭ごみの排出量抑制のよびかけ ④各教室に二酸化炭素吸収量が多い多肉植物やシクラメンを配置。
地球環境に関心があるが、ごみの分別方法など、それに対する知識があまりない。		環境問題を知り、昭島市全体で取り組めるまちづくりを提案したい。
地域清掃している周りではポイ捨てがされていない。		助成金を支出し、地域清掃する人・場所・機会を増やす
ヒートアイランド現象の悪循環を抑制する。(緑や遊び場が少ない。)		大きな芝生のある公園を造る。(小さな子どもは安心して遊べ、中学生はスポーツができる。)
昭島市は自然豊かな場所だが、ポイ捨てされたゴミが目立つ		ポスターを貼ったり、積極的に環境を汚さない工夫をしてほしい。

4 懇談

【市長の話】

吸い殻のポイ捨て問題は、清掃中の傍らにはポイ捨てしないとの話もあったが、罰則で取り締まるのではなく、地道な啓蒙活動で、捨てにくい環境を作ることも大事です。

自助・共助・公助の話をしたが、生徒会活動はもちろん、地域活動等にも参加し、地道な努力・実践活動を続けることで、周りの生徒や市民に良い影響を与えてほしい。

【教育長の話】

挨拶を大切に、きれいなまちにしたい気持ちがヒシヒシと伝わり、非常にうれしい。

【企画部長の話】

人間尊重と環境との共生は、今後も大切な理念であり、意見を参考に計画を作りたい。

皆さんの頑張りを見て、周りの生徒が頑張りますので、引き続き頑張ってください。

【市長の話】

第四次計画の将来都市像は「人 まち 緑の共生都市あきしま」で、その中では「触れ合い、支えあい、学びあい、守りあい、築きあい」の5つのキーワードでまちづくりを進めていくことを謳っているが、このことは「人間尊重」の精神にも繋がる。

米の漢字は「八」、「十」、「八」と書く。88の手間をかけてできた「一粒のコメや食べ物を大切にする。」感謝の心を大切にするとともに、料理でもスポーツでも、1つのことに一生懸命取り組んでもらいたい。一生懸命に取り組むためには創造性や努力が必要で、勉強にもなるし、一緒になってやれば良い友達もできる。

生徒会の役員として、中心になってやってきたことは、良い社会勉強として、将来の皆さんの立派な成長に大きな力となって生きていると思います。期待しています。

5 木戸教育長のことば

努力は絶対にあなたたちを裏切りませんので、今日のことを忘れずに、努力に努力を重ねて、立派な成長を遂げていただきたいと思います。